

～ 政策学の新たな可能性を求めて ～ 第20回リサーチ・コンソーシアム 総会記念事業プログラム

総合政策研究科リサーチ・コンソーシアムは1999年4月に発足した産官学連携の研究組織であり、今回で20回目を迎えます。研究成果の社会への還元は現在、大学の社会的使命のひとつとして位置付けられておりますが、本研究科のリサーチ・コンソーシアムは、約20年前から研究者と産業界・自治体との連携を図る仕組みを模索し、構築してきました。

このリサーチ・コンソーシアムは現在42の企業や自治体、35の個人会員、そして60名の教員、21名の大学院生から構成されており、例年この5月下旬に総会記念事業を開催し、講演会、パネルディスカッションまたポスターセッションなどを実施しています。また、その時代のトレンドとなっているテーマを取り上げ、各分野で活躍されている方々をお招きして、シンポジウムを行ってまいりました。

今回も独自のアイデアと手法で社会に新たな変革を起こし、未来の幸福な社会を作り出そうと活動や研究をされている方々を招聘し、ご自身の経験とヴィジョンを語っていただきながら、共に多様な人々が共生できる社会の仕組みを考えていきます。

※一般の方の聴講可、申込不要、無料

第20回リサーチ・コンソーシアム総会記念事業プログラム 政策学の新たな可能性を求めて—Solution for the future—

■テーマ：「未来に向けたソーシャル・イノベーション」
～チェンジメーカーが紡ぐ、しなやかな社会～

■日時・場所：
5月25日（金）13時00分～17時00分
西宮上ヶ原キャンパス 関西学院会館2階 レセプションホール

■スケジュール：
13:00～13:15 開会の挨拶
細見和志・総合政策研究科教授
(リサーチ・コンソーシアム会長)
13:15～13:40 イントロダクション～起業家からのメッセージ
川口加奈・認定NPO 法人 Homedoor理事長
13:40～14:40 各パネリスト自己紹介／オープニングリマーク
菅正広・明治学院大学大学院教授
並河進・株式会社電通デジタル執行役員
武田丈・関西学院大学人間福祉研究科教授
15:00～16:30 登壇者によるパネルディスカッション
16:30～16:40 閉会の挨拶

※13:00～17:00 ポスターセッション(1F・2Fロビー)

■主催：関西学院大学大学院総合政策研究科リサーチ・コンソーシアム

■お問い合わせ：

関西学院大学大学院総合研究科事務室(079・565・7601)

デフサッカーアジア太平洋選手権で優勝！ 得点王・宮田夏実さん(商学部3年生)



サッカー部女子に所属する宮田夏実さん(商学部3年生)が、4月23日から5月6日まで韓国昌原市で開催された聴覚に障がいのある人たちがプレーするデフサッカーの第4回アジア太平洋選手権に出場しました。

日本は決勝リーグ2戦全勝。2020年の世界選手権への出場権を得ました。そこで全試合に出場した宮田さんは、この選手権において得点王に輝きました。子どもの頃に5歳上のお兄さんの影響でサッカーをはじめた宮田さんのお兄さんは現在、デフラグビーの日本代表でもあります。



写真： アジア太平洋選手権での様子

宮田さんは「アジア太平洋選手権で優勝し、ほっとしています。でもアジアで満足するのではなく、世界はとてつもなく高い壁なので、2年後の世界大会に向けて更にレベルアップしていきたいです。たくさんの応援、サポートありがとうございました。これからも応援よろしく願いいたします」と、喜びを語りました。



なお、宮田さんは2019年にスイスで開催される、デフフットサル世界大会日本代表候補にも選出されました。今月末、仙台で行われる合宿に参加を予定しています。代表に選出された場合には、10月と11月に行われるアジア予選に出場します(開催場所未定)。